

## AI

## は学修支援をどう変えるのか

## プロセス支援への転換点



東京大学 大学総合教育研究センター  
副センター長 教授

栗田 佳代子氏



新潟大学 教育基盤機構 准教授

斎藤 有吾氏



千葉大学 大学院園芸学研究院  
園芸環境科学講座 教授

古谷 勝則氏

## 日時

9/25 金  
14:00-17:00

Zoomによるウェビナー形式での開催

参加費は無料です

## プログラム

- 14:00 開会挨拶
- 14:05 講演
- 15:35 休憩
- 15:50 パネルディスカッション
- 16:50 閉会挨拶

## 申込方法

9月25日(金) 9:00 まで

下記 URL からお申込み下さい。

二次元コードからもアクセスできます。

[https://alc.chiba-u.jp/ALPS/seminar/symposium/sympo12\\_2026.html](https://alc.chiba-u.jp/ALPS/seminar/symposium/sympo12_2026.html)



主催  
お問い合わせ

千葉大学アカデミック・リンク・センター

(教育関係共同利用拠点「新たな時代の大学教育を創造する「教育・学修支援専門職」養成拠点」)

千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学西千葉キャンパス内 TEL:043-290-2891 MAIL:alps-info@chiba-u.jp URL: <https://alc.chiba-u.jp/index.html>



CHIBA UNIVERSITY

Academic Link



アカデミック・リンク教育・学修支援専門職養成プログラム  
ACADEMIC LINK PROFESSIONAL STAFF DEVELOPMENT PROGRAM FOR EDUCATIONAL AND LEARNING SUPPORT

# AI は学修支援をどう変えるのか

## プロセス支援への転換点

### 日 時

2026 年 9 月 25 日 (金) 14:00 ~ 17:00

### 開催形式

Zoomによるウェビナー形式での開催

### 講演者

栗田 佳代子氏 (東京大学 大学総合教育研究センター 副センター長 教授)  
斎藤 有吾氏 (新潟大学 教育基盤機構 准教授)  
古谷 勝則氏 (千葉大学 大学院園芸学研究院 園芸環境科学講座 教授)

### 趣 旨

AIの急速な発展は、大学教育の前提を大きく変えつつある。学生は生成 AI を通じて、瞬時に膨大な情報へアクセスし、高度なアウトプットを生成できるようになった。この変化は、知識の伝達や課題解決を中心としてきた従来の教育・学修観に再考を迫るものである。

こうした状況のもとで、学修支援の役割もまた転換点にある。これまでの学修支援は、レポート作成や試験対策など、個別の課題にどのように取り組むかを支援することに主眼が置かれてきた。しかし、AI が課題遂行の多くを代替する現在においては、こうした「課題対応型」の支援の意義は相対化されつつある。

その一方で、学修支援の実践においても、AI の活用は急速に進みつつある。生成 AI を活用した初期相談対応、学修過程に応じたフィードバックの自動生成、学修ログの分析に基づく個別化支援など、AI はすでに学修支援の一部を担い始めている。今後は、AI が支援の一部を代替・拡張することを前提に、人間の支援者がどのような役割を担うのかを再定義する必要がある。

このような状況において、学修の本質は依然として、問いを立て、情報を吟味し、思考を深め、その過程を振り返るという一連のプロセスにある。このプロセスそのものをいかに支えるかが、AI 時代の大学における新たな課題として浮かび上がっている。すなわち、学修支援は、個別課題の解決を補助するものから、AI の活用を組み込みつつ、学修プロセス全体に伴走するものへと再定義される必要がある。

この転換は、日本の高等教育政策において掲げられている「学修者本位の教育」の実現とも深く関わる。学修の個別化やデータ活用が進展する中で、学生一人ひとりの学びの過程をどのように可視化し、支援し、その質を担保していくのかは、教育組織全体にとっての重要な課題である。また、その担い手として、教員に加え、ラーニング・アドバイザーや大学図書館職員等、多様な専門職が AI を適切に活用しながらどのように連携し、役割を再編していくのかも問われている。

本シンポジウムでは、AI の活用を前提とした大学教育において、「学修プロセス支援」への転換と、その中での AI の位置づけを主たるテーマとする。3 名の講師による講演を通じて、AI を活用した学修支援の具体像、授業を越えた支援のあり方、支援の単位や方法の再設計、さらにはそれを支える組織的基盤について検討する。あわせて、AI と人間の役割分担、学修支援がどこまで学習者のプロセスに介入すべきか、個別化と標準化のバランスをいかにとるかといった論点についても議論を深める。

AI に依存するのではなく、AI を組み込んだ学修支援の設計を通じて、人間の学びをいかに再構成するか。その具体像を描き出すことが、本シンポジウムの目的である。教職員・学生がそれぞれの立場から議論に参加し、これからの大学における学びと支援のあり方を構想する契機となることを期待したい。

### 申込方法

9 月 25 日 (金) 9:00 までにお申込み下さい。参加費は無料です。  
下記 URL から申し込みをしてください。二次元コードからもアクセスできます。  
[https://alc.chiba-u.jp/ALPS/seminar/symposium/sympo12\\_2026.html](https://alc.chiba-u.jp/ALPS/seminar/symposium/sympo12_2026.html)



### 主 催 お問い合わせ

## 千葉大学アカデミック・リンク・センター

(教育関係共同利用拠点「新たな時代の大学教育を創造する「教育・学修支援専門職」養成拠点」)

千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学西千葉キャンパス内

TEL:043-290-2891 MAIL:[alps-info@chiba-u.jp](mailto:alps-info@chiba-u.jp) URL: <https://alc.chiba-u.jp/index.html>